
【番号・テーマ】 8. 職業

【単元名】 将来の仕事について話そう

【基本情報】

授業時間・形態：100分（2コマ×50分）

学習歴：1年目

クラスサイズ：(○) 10名以下 (○) 10～20名 (○) 20～30名 () 30名以上

レベル：(○) A1.1 (○) A1 () A2 () B1

【授業の位置付け】 第三外国語、選択

【単元の目標】

- ・自分が将来就きたい仕事およびその理由をフランス語で説明できる。
 - ・基本的な職業に関する語彙や表現を理解して、やりとりができる。
 - ・日本の高校生とフランスの高校生、それぞれが将来就きたい仕事について比較し、文化的な相違について考えることができる。
-

【具体的な学習事項】

[単元に該当する指標形式の目標]

やりとり	<ul style="list-style-type: none">・将来就きたい職業についてやり取りができる。・職業の語彙を知る。・フランス語での職業のやり取りの会話を理解でき、会話を行うことができる。
------	--

【具体的な評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ je voudrais (tu voudrais) faire (être)を用いた文の構造を理解し、適切に使える。・適切に自己紹介ができる。・代表的な職業の表現を理解し、適切に使える。・将来就きたい職業に関する口頭のやり取りを聞き取り、理解できる。	<ul style="list-style-type: none">・自分や相手が将来就きたい職業を口頭でやり取りでき、書くことができる。・日本とフランスの高校生や若者が将来就きたい職業について比較し、社会文化的な相違を検討し、表現することができる。	<ul style="list-style-type: none">・ペアワークにおいて、間違ふことを恐れずに話すことができる。・相手の話していることに積極的に耳を傾けることができる。・日本とフランスの若者が就きたい職業の比較を通して、社会文化的な相違点や類似点を見つけることができる。・異文化に寛容になることができる。

[目標とする言語項目と社会文化項目]

言語項目

職業の語彙：étudiant, professeur(enseignant(e)), employé(e), journaliste, médecin, informaticien(ne), politicien(ne), avocat(e), acteur(actrice), chanteur(chanteuse), chercheur(chercheuse), fonctionnaire, vétérinaire, etc.

「将来」を表す表現：dans l'avenir, après tes études, plus tard

既習事項

主語人称代名詞、動詞 (être, avoir, -er, aller, venir)、冠詞 (定冠詞、不定冠詞、部分冠詞)、疑問文、否定文、数字(1~20), je voudrais, pourquoi ..., parce que j'aime (adore) ça, c'est intéressant, ça m'intéresse...

社会文化項目

・日本とフランスの高校生に人気の職業の比較を行った後に、どうしてそれらの職業がランキング上位に位置するのか、さらには日仏の人気職業が異なる理由を考える。

【授業資料】

配布資料：ワークシート① (日仏の高校生の就きたい職業ランキングを提示してどちらが日本の高校生でどちらがフランスの高校生かを記し、その理由も書く) ワークシート② (6人のフランス人高校生に、名前や将来就きたい職業を聞き、書き入れる) ワークシート③ (グループのほかの人がなりたい職業とその理由を書き入れる)、語彙リスト (Liste 1)、ループリックシート、振り返りシート

授業で使用・提示したもの：パソコン、プロジェクター、パワーポイント

【授業の過程】

[第1次]

導入：あいさつ、授業目標の提示、自己紹介の表現、の復習

展開：

- ① 職業に関する語彙の導入
- ② 社会文化項目の導入：ワークシート①を使用したペア活動（日本とフランスの高校生に人気の職業の比較）
- ③ 将来就きたい職業に関するやり取りの表現の導入
- ④ 将来就きたい職業に関する表現の実践：ワークシート②を使用したグループ活動1（6人のフランス人が将来就きたい職業を書き取り、隣の日本人に将来職業をたずね、書き取る）

[第2次]

展開：

- ① 理由を問う表現とそれに対する返答の表現の導入
- ② 将来就きたい職業に関する表現の実践：ワークシート③を使用したグループ活動2（4人一組で順番にフランス人の職業に関する進路指導の面接を受ける）
- ③ まとめとふりかえり

第一次

時間	生徒の学習活動	教師の活動および指導・支援	評価の観点・基準
導入 (7分)	<p>【あいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室にいるフランス人を簡単に紹介する。 ・ルーブリックを配布して、評価基準を提示する。 ・パワーポイントのスライド2を使用して授業の目標を提示。 ・パワーポイントのスライド3-4を使用して復習。 <p>【個人活動・クラス活動：復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自己紹介の復習。 フランス人に簡単に自己紹介をしてもらう。 教師の自己紹介に続き、生徒数名に簡単な自己紹介をさせる。 2 願望を表す表現(je voudrais)と、理由を尋ねる表現(pourquoi)およびその理由を答える表現(parce que)を発音練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業内容と関連付ける。 ・数人を指して、意味の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習した項目を理解しているか。 ・積極的に参加しているか。
展開① (新しい表現の導入) 8分)	<p>【個人活動・クラス活動：新しい語彙の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントのスライド5-6を使用して職業の語彙を導入す 	<ul style="list-style-type: none"> ・意味は与えるのではなく、英語から類推させたり、ヒントを与えて謎々のように考えさせたりす 	<ul style="list-style-type: none"> ・意味を理解したか。 ・積極的に参加しているか。

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数回、繰り返し発音させる。 	る。	
<p>展開② (導入) (8分)</p>	<p>【ペア活動：社会文化項目の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントのスライド7を使用し、日仏の高校生の就きたい職業の相違点について発見し、違いの理由を考える。 ・新しい語彙の意味を生徒と考える。 ・2人組になり、リストAとBどちらがフランスの若者で、どちらが日本の若者かを考えさせる。気づいた点を、ワークシート1に記入させる。 <p>〈教員の声掛け〉 「どっちの国の若者の方が安定志向だろう?」「どっちの国の若者のほうが社会的野心や起業精神を持っているだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかのグループに、ワークシートに記入したことを日本語で発表してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師およびフランス人が机間巡視し、質問を受け付ける。 ・違いの理由をクラス全体で考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア作業に全員が参加しているか。 ・積極的に学習に取り組んでいるか。 ・大きな声で積極的に発言できているか。論理的に説明できているか。
<p>展開③ (4分)</p>	<p>【個人活動・クラス活動：新しい表現の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランス人高校生二人に、将来就きたい職業に関するモデル会話をしてもらう。 ・聞き取れた職業や表現を生徒に言わせる。聞き取れた箇所を板書して、聞き取れなかった箇所は、最初は空欄にしておき、次に推測してもらう。 ・パワーポイントのスライド8を使用して、赤字になっている新しい語彙を再度確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が正解を示すのではなく、既習事項をもとに生徒に考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加しているか。
<p>展開④ (5分)</p>	<p>【ペア活動：新しい表現及び語彙の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が生徒に将来就きたい職業を質問する。次に、生徒間で隣の人に就きたい職業を尋ね、答えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の表現や発音を確認し、適宜直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に学習に取り組んでいるか。 ・正確に発音できているか。
<p>展開⑤ (18分)</p>	<p>【グループ活動】</p> <p>自己紹介および将来就きたい職業を尋ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントのスライド9(ワークシート2)を使用。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・6人のフランス人高校生に、名前や将来就きたい職業を聞き（最初は教師が、次は生徒が）、語彙リスト（Liste 1）を参考にワークシート2の1～6に書き入れてもらう。 ・その後、隣の人と自己紹介および将来就きたい職業を尋ね合い、ワークシート2の7にフランス語で記入してもらう。 ・3組程度のグループを選び、会話を発表してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師およびフランス人が机間巡視し、質問を受け付け、空欄が目立つグループには、ヒントを与える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア作業に全員が参加しているか。 ・積極的に学習に取り組んでいるか。
--	---	---	--

【第二次】

時間	生徒の学習活動	教師の活動および指導・支援	評価の観点・基準
展開① (5分)	<p>【クラス活動：グループワーク2の告知と評価基準の提示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントのスライド10を使用しアクティビティを告知。 ・日本とフランスの高校における進路指導の相違点を簡単に説明した後、進路指導面接について説明する。 ・アクティビティ（進路指導の面接）を提示。 ・4人一組になり、それぞれのグループにフランス人が一人入る。 ・フランス人が日本人高校生に対して進路指導の教員の役を演じ、4人の高校生に集団で面接を行う。 ・フランス人が、自己紹介を求めたあとで、2つの質問（「将来就きたい職業」、「その理由」）を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問があったら受け付けて、全員がアクティビティを理解できるようにする。 	
展開② (15分)	<p>【グループ活動：アクティビティ2の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人のフランス人が進路指導面接のモデルを示す。 ・生徒に分かったことを言わせ、適宜板書する。 ・ワークシート3にグループのほかの人がなりたい職業とその理由を書き入れるよう指示を出す。 ・各自、自己紹介、将来就きたい職業およびその理由を準備する。 ・スライド11を使い、理由の表現の復習と、新しい表現を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の質問を受け付ける。 	
展開③ (20分)	<p>【グループ活動：アクティビティ2の実践】</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス人が順に4人に進路指導の面接を行う。 ・各グループ一名を選び、全員の前でフランス人との面接を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまく返答できない生徒には、ヒントを与える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で積極的に発音できているか。
活動総括(3分)	【個人活動・クラス活動：発表総括】 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒にたいしてコメントをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけポジティブなコメントをする。 	
授業のまとめ(2分)	【個人活動・クラス活動：まとめ】 <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントのスライド12を使い、学習項目を確認する。 		
振り返り(5分)	【振り返り】 <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート配布。 ・2時間の授業の振り返りをさせ、シートに記入させる。 ・振り返りシートをまとめて、それぞれが考えたことを共有させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細に書くよう指示。 ・生徒を指名して発言を促す。 ・当日回収。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に記入しているか。